



CONTENTS

02 学長就任挨拶／2022年度前期授業を終えて
学生相談室より

04 〈特集〉神戸芸工大のいま 各学科の取り組み紹介

06 〈特集〉神戸芸工大生の未来 内定者インタビュー

08 キャリアセンターからのお知らせ

09 活躍する卒業生からのメッセージ

10 クラブ・サークル活動報告

11 神戸芸工大の交換留学

12 お知らせ～教育後援会・学生フォーラム・事務局～／行事予定



学長就任挨拶

2022年4月より神戸芸術工科大学の学長に就任しました。2016年度に副学長として着任し、研究科長、学部長等を兼務して大学の外部評価や大学院の改革などに取り組み、2016年度と2021年度に受けた大学機関別認証評価では、共に安定して高い評価を受けることができました。

コロナ禍においては、感染症の動向を見据え、対策を徹底しながら、いち早く対面授業を復活させました。オンラインによる教育環境も整え、学生が安全で有意義なキャンパスライフを送れるための対応をしています。

本学は、デザインや芸術の概念を大きく広げ社会化してきた芸術工学の中心的な大学の一つです。学生たちには、コロナや昨今のメディアの変革にも力強く対応し、社会に新しい価値を提案する創造力の錬磨に努めることを願います。

昨年度の卒業研究の展示会を県立美術館等で行いましたが、そのレベルは例年同様に高く、一人ひとりの学生や教職員が環境の変化に対応し、懸命に取り組んできた成果を見ることができました。就職状況も良好で、例年以上の就職率を記録しています。今後も就職支援対策を強化し、就職対策の授業科目なども充実させていきます。

大学院の改革も顕著な成果をあげており、国際色豊かな優秀な学生が数多く入学し、専門性を高め視野を広げる多彩な授業が展開されています。現在は学部の充実を手がけています。分野間の壁を低くし、幅広い知見と技能の修得の両面を追究し、ますます強い芸術工学の確立をめざします。



学長 佐藤 優
SATO Masaru

2022年度 前期授業を終えて…

2022年度 前期授業は、3密(密閉・密集・密接)回避、消毒の徹底等、十分な感染対策のもと対面授業を基本として実施しました。また、感染防止および教育効果の観点から、遠隔実施が望ましいと判断された一部の科目については、遠隔または混合型(対面と遠隔)で授業を実施しました。無事前期終了を迎えた学生の皆さんに、「コロナ禍を乗り越えてきて今思うこと」について、お話を伺いました。



奥田 啓斗さん

アート・クラフト学科 4年(下宿生)

3年になり自分の作業スペースを持ち、制作もどんどん本格化していく。そんな矢先に厳しい行動制限が課せられ、思うように制作活動ができない辛い毎日が始まりました。マスク着用の500度を超えるガラスの窯での作業は体温調節も難しく、体力を消耗したことを覚えています。

そんなコロナ禍を経験したことで、当たり前だった些細なことにも感謝するようになりました。今の私にできることは、みんながコロナ禍で感じた不安な気持ちに寄り添い、その気持ちを和らげることのできる作品を作ること。そんな作品作りを目指して頑張っています。



剣持 花さん

アート・クラフト学科 4年(自宅生)

1回目の緊急事態宣言が発令されたとき、私たちはまだ2年生でした。専攻をガラスに決め、新たな技術や表現をこれから学ぶというときだったので、前に進むことができない辛い日々が続きました。そして、工房で毎日のようにお世話になった先輩方に、卒業時に直接感謝の気持ちを伝えることができなかったことが今でも心残りです。

今は大学の施設・設備を使用し、先生方から直に教わり、制作できることにとても感謝しています。これからもこの気持ちを忘れず、制作活動に励んでいきます。



大田 千晶さん

プロダクト・インテリアデザイン学科 3年(下宿生)

入学早々に大学内への入構が制限され、突然下宿先でたった一人、オンライン授業を受けることになりました。不慣れなパソコンによる遠隔コミュニケーションや、様々なツールによる授業への対応は混乱の連続でした。

制限が緩和され、通常どおり対面授業や工房使用が可能となった制作の場では、自分だけでは辿り着けない発想が湧いてくることが多くあります。共に学ぶことで磨かれるスキルがあることを強く感じながら、人と交流することの楽しさや大切さを改めて実感しています。



北村 ひなたさん

まんが表現学科 3年(下宿生)

コロナ禍で一番つらかったのは、同じ学年の友達と直接会う機会が本当に少なかったこと！授業はほとんどオンラインで行われ、対面の授業だったとしても1つのテーブルに隣り合って座ることさえできませんでした。最初の友達を作るのも一苦労でした。

コロナのせいでできなかったことは勿論ありますが、コロナがあったからこそ得られた経験や人脈もあります。コロナ禍を乗り越えた学生として得た貴重な経験を無駄にせず、残りの学生生活も後悔のないように頑張っていきたいです！



ポストコロナの「新しい生活様式」を受け入れ、ポジティブに学生生活を送ろうとする学生達の言葉に、本来の日常を奪われたことで、「当たり前」のことがここにあることのありがたみを深く感じ、それを新たなチャレンジへの原動力とする、強く負けない力を感じました。

これからも学内の安全・安心の確保を目指し、全学生・全教職員が「感染しない、感染させない(うつらない、うつさない)」ことを強く意識し、気を緩めることなく感染防止対策への取り組みを継続して参ります。保護者の皆様も、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

学生相談室より



2022年度より 月2回 学生相談室にお越しいただいている心療内科医 清田先生からメッセージが届きました。

現代社会における 自立のありかたについて

時代のキーワードは「多様性」です。「曖昧で移ろい易く複雑で不確定」な時代です。まるで大海の中で杭に捕まり浮かんでいるようです。道標は既になく、どこへ向うか自ら見出さなければなりません。「頑張れば何

とかなる」では「何ともならない」時代です。その中で青年期を迎えた学生さんは、自立に向けて奮闘しています。

自立とは、「誰にも頼らずに、自分で何でもできること」と考えがちですが、これは自立というより「孤立」に近いのではないのでしょうか？

熊谷晋一郎先生は、自立とは「依存先の数を増やす

ことです」と述べています。依存(頼れる)先を増やすことで、ひとつひとつの依存度を浅くして、あたかも何も依存していないかのように見える状態を自立というのではないのでしょうか？自立するためには、依存(頼れる)先を自ら増やして行くことが大切です。

頼れる先の細い糸になれば、幸いです。宜しくお願いします。

きよた診療所 心療内科医 清田 直俊



環境デザイン学科

変化する社会に応じて、対面・オンラインともに新たな展開を進める

コロナ禍で集まることが制約されるなか、対面での取り組みを模索しつつも、オンラインによる活動の工夫により新たなコミュニケーションの可能性を広げてきました。これにより、海外とのワークショップや遠隔地からのレクチャーなどが距離を超えてリアルタイムで可能となり、実施のハードルが下がりました。オンラインでは場を共有する空気感、人や作品との出会いによる触発は希薄になりますが、対面にはない効果も見られ、これからの教育やデザイン現場での積極的な展開への可能性が期待できます。



トークセッション・ポスター

本学科では毎年前期に、都市・建築・空間のデザインや地域づくりなど、多様な分野で独自の先進的試みを展開している若手デザイナーを招いてトークセッションを行っています。2021年度は、「パブリックスペースの新展開」をテーマに3人のデザイナーとセッションを行いました。

テーマごとのレクチャーと教員を交えたセッションを記録し、オンデマンドで配信しました。遠隔地の講師の参加を得て短期間で企画し、連続セッションのプログラムを効果的に実施できたのは、オンラインの活用によるところが大きかったと考えています。

接触機会を減らすことが求められたコロナ禍の生活で、都市のパブリックスペースが見直されるなかで、このトークセッションを通じて、パブリックスペースの使い方を柔軟に拡大し、まちとつながる場を多様に生み出すことが、生活を豊かに持続的にすることに気づかされました。

距離を超えての交流を実現するオンラインセッションの可能性を確認しつつも、やはり図面と模型を前にして悩みながら自らの考え方を伝えるプレゼンテーションの機会や、提案を議論する講評会の緊張感は、学生生活において代えがたい大事な経験です。そこで2021年度は、参加者の人数を管理し、十分換気に気をつけながら、2年ぶりに発表者以外の学生が参加する選抜卒制講評会を対面で行いました。

この講評会は、選ばれた作品から学長賞を選ぶということだけでなく、場の準備から運営を多くの学生が参加して行う経験が引き継がれていくことに意味があると考えています。そして、4年次のプレゼンテーションが後輩たちの未来の卒業制作への刺激となることが期待されているのです。

建築はまちをつくり環境とつながる。環境は、そこに人が居ることで意味をもちます。人の営みが制約され、こうした環境のあり方を共有することが難しいコロナ禍で、拡大するオンラインやバーチャル空間の活用など、社会の変化に対応しながら、新しい学びの方法を模索し続けます。



2021年度 選抜卒制講評会



選抜卒制講評会の準備の様子



選抜作品(学長賞)模型部分



選抜作品模型部分

ファッションデザイン学科

新入生が取り組む「新しい着こなしを提案するアロハシャツの制作」

2022年度の新入生が入学してまず取り組むのは「アロハシャツ」のデザインについて。

アロハシャツは古くから歴史あるアイテムであり、現在も新しいスタイリングを構成するアイテムです。入学して間もない新入生はこの課題に取り組みながら、「調べること」「提案すること」「制作すること」「伝えること」のプロセスを学びます。それらを通して、ファッションデザイン学科の企画コース、テキスタイルコース、ファッションデザインコースの一連した工程や、それぞれ専門分野の特性を体験する機会となります。



課題のスタートでは、まずアロハシャツの発祥や変遷を知ることから始まります。そして素材や縫製技術がどのように活かされているかを実践の上で経験します。また、現在の視野・視点を持って新しいスタイリングを考え、アロハシャツから様々な理解と表現を学びます。

4月にスタートした課題はリサーチと企画提案の発表ののち、各自のオリジナルな模様のデザインを考え、シルクスクリーンで生地を捺染し、独自のプリント生地を制作します。そのプリント生地をアロハシャツの型紙で裁断・縫製し、世界に一つだけのアロハシャツを完成させます。

完成後は各自のスタイリングにより、定番アイテムを時代のリアルに即した提案としてよみがえらせる試みを、撮影写真のポスターでプレゼンテーションし、前期を通した課題が終了します。

これらの制作過程を経て、今期の学生もそれぞれに、自分の強みとなる表現力を見出すことができました。新たな『自信の芽』の発見が、今後の成長に大きく繋がっていきます。



プレス機で接着芯を貼り、衿の形を安定させます。



クラスメートと教え合い、対話のなかで考える力を身につけます。



一枚の版を2色重ねて奥行きを出し、オリジナルプリントを完成。



型紙を配置し生地裁断。柄配置を考えながら用尺の中に入るか検討します。



印を合わせて縫製準備。設計どおりに仕上げるため丁寧に印を合わせます。



工業用マシンで縫製し、その制作過程でプロの縫製技術を修得します。



01 内定者インタビュー

幅広い分野のデザインの仕事に惹かれ 空間デザイナーの道へ

ジーク株式会社
デザイン室

プロダクト・インテリアデザイン学科
プロダクト・カーデザインコース
(近畿大学附属和歌山高等学校 卒業)

折口 幸祐 さん

幅広い分野のデザインを手がけられる 空間デザインの仕事に興味を感じて

好きなことは全力で取り組むタイプで、実習では常に自分の力を出し切るよう課題制作に取り組んできました。その姿勢と習慣が、希望する企業から内々定をいただく結果につながったのではないかと思います。

就活を始めたのは3年生の9月で、最初はプロダクトデザインができるメーカーのインターンシップに行きました。仕事にはやりがいを感じたのですが、メーカーへ就職すると文具や家電など、特定の分野のみの商品デザインをしていくことになります。就活を進めていくなかで、いろいろな分野のデザインを手がけたいという思いが強くなり、それを可能とする空間デザインの仕事に注目するようになりました。プロダクトデザインと空間デザインとはジャンルは異なりますが、デザイン

の仕事という点では同じです。そこからは、就職先を空間デザインができる企業に切り替えることにしました。

色々な方の協力を得て 実技試験や面接に挑んだ

内々定をいただいたジーク株式会社は、就職活動の中でも一番早い時期にポートフォリオの提出があり、期日までに指定枚数にまとめて完成させるのに苦労しました。その後の面接では、キャリアセンターの方としっかり練習したことで、自信を持って面接を受けることができました。実技試験は、プロダクトデザインを専攻してきた私にとっては初めての本格的な空間デザインの課題でした。大学の図書館で調べたり、自分の持つプロダクトデザインの知識を活用して、量産でコストを抑えるアイデアを提案に盛り込み、オリジ

就活データ

志望業界：空間デザイン・ディスプレイ
インターンシップ参加：8社
説明会参加：27社
活動費用：約13.5万円(制作費7万円、交通費3万円、洋服代3万円、写真撮影費5千円)

ナリティを出しました。また選考当日は、余裕を持って家を出たにも関わらず、電車の遅延というハプニングにも遭いましたが、平常心を心掛け、いつも通りプレゼンをし、採用担当の方からは、初めて取り組んだ空間デザインとは思えないと高い評価をいただくことができました。

ジーク株式会社では、商業施設の内装デザインや設計を担当する予定です。お客様から信頼されるデザイナーを目指して成長していきたいと思っています。



向井研究室の講評会ではゼミ生たちの熱が入り、毎回時間を大幅に延長します。

在学中にチャレンジしてきたこと!

大学の課題以外にも、個人的に作品作りをしてきたので、ポートフォリオを充実させることができました。

自分が持っているスキルを把握し、アピールすることが大事だと思います。



3D CADを使って創作した「近未来のパーソナルモビリティ」。



ジーク(株)へ提出用にポートフォリオを編集。



玩具を楽しむイメージイラストを自身で描写し、空間デザインのアピールにつなげた。



ハラハラドキドキが楽しめる棒引きゲームを考案。



内定までの道のり

3年次9月~1月

インターンシップに参加

3年次2月

企業説明会に参加

3年次3月

エントリーや面接

4年次5月

面接や実技課題を経て、ジーク株式会社に内々定

夢を形にした2人に成功への道のりについて伺いました。

02 内定者インタビュー

心動かすパッケージを作る パッケージデザイナーを目指して

ザ・バック株式会社
商品開発部

ビジュアルデザイン学科
グラフィックデザインコース
(東大谷高等学校 卒業)

井関 菜々美 さん



思わず商品に手が伸びるような パッケージを作りたい

カラフルなお菓子のパッケージが好きで、パッケージを気に入って「パケ買い」されるような素敵なデザインをしたいと思い、芸工大に入学しました。パッケージデザインを学ぶことが楽しく、アイデアが次々と湧いてくるので、自然とこういう仕事が自分に向いているんだと思うようになりました。

パッケージデザインができる企業を中心に就職先を探し始めましたが、パッケージデザイナーの求人は少ないため、グラフィックデザイン全般や、Webデザインの分野にも就活の範囲を広げました。パッケージデザイナーになれなくても、デザインの仕事にはどうしても就きたいという強い気持ちがありました。早い段階から仕事のイメージができていたので、希望する業種のインターン

シップ情報が出てきた3年生の秋から、スムーズに就活を始めることができました。

大学の課題や自主的な創作活動が 採用試験に生かされた

就活にあたり、まずはデザイナー志望の美大生や芸大生のための就活サイトに登録しました。そこで得られる情報は貴重で、ポートフォリオの制作などもそのサイトを見て参考にしました。デザイナー志望者向けのサイトは、自分のポートフォリオを登録すると、企業からオファーが届くことが多いので、早めにポートフォリオをまとめることができた点はよかったです。

内々定をいただいたザ・バック株式会社は、デザイン力だけでなく、実技試験では作業スピードも求められ、実習課題や自主制作に取り組んできたことをそのまま生かすこと

就活データ

志望業界：メーカー、情報通信
インターンシップ参加：2社
説明会参加：32社
活動費用：約12.5万円(制作費1.5千円、交通費3万円、洋服代7万円、写真撮影費1万円)

ができました。面接では、幅広いジャンルのデザインをしたいという思いを懸命に伝えました。

配属予定の商品開発部では、デザインのほか、CADを使っての設計も行うことになります。CADソフトは使ったことがありませんが、4月から会社で教えてもらえるので、今のうちから自分で勉強しておきたいと思っています。

入社後は、パッケージで商品の魅力を伝え、購入を促すことができるデザインを目指してがんばります。私が考案したパッケージが店頭で並ぶ日が楽しみです。



自宅でも毎日のように制作をしてきました。

在学中にチャレンジしてきたこと!

1日1作品、90分でデザインを考案することが日課です。タブレットを使い、通学の移動時間を利用してしています。



若い男性向けのスキンケア商品のパッケージ。男性が購入しやすく、明るいデザインを目指した。



課題で取り組んだ既存商品のリデザイン。きれいな印象を与えることを意識した。

パッケージのデザインや形を工夫することを、楽しんでいます。



大切な人へのお土産になるキャンディのパッケージデザイン。パッケージの形にもこだわった。



内定までの道のり

3年次9月

OG訪問

3年次10月

デザイン系企業のインターンシップに参加、就活サイトへの登録

3年次11月~3月

企業説明会に参加

4年次3月~5月

エントリーや面接

4年次5月

ザ・バック株式会社に内々定

キャリアセンターからのお知らせ

キャリアセンターは1年生から利用できる施設で、就職に関してのサポートだけではなく、在学中の資格取得やキャリア形成に役立つ情報も提供しています。特に就職活動が本格化する3年生からは、ガイダンスの実施などの他、キャリアセンタースタッフによる履歴書やエントリーシートなどの添削、個別の面接練習も行っています。余裕をもって準備を進めることが就活成功の鍵になります。是非お気軽にキャリアセンターを利用いただくようお勧めください。

	就活スケジュール	就職ガイダンス等	
3年	4月	就職情報サイト登録	キックオフオリエンテーション 「キャリアデザインC」履修
	5月		キャリアハンドブック発送 インターンシップ説明会
	6月	就職情報サイトで インターンシップ受付開始	就職情報サイト説明会 エントリーシート対策講座 ポートフォリオガイダンス 全員対象進路面談
	7月	インターンシップ 自己分析・企業研究・書類作成など採用選考対策	SPI 対策模試 ビジネスマナー研修 コミュニケーション研修
	8月		SPI 対策（非言語）集中講座
	9月		就活オリエンテーション
	10月	インターンシップ エントリー・参加	全員対象進路面談 就職試験対策講座 業界研究講座 ポートフォリオ作成講座 キャリアサポートブック送付 (保護者向け冊子)
	11月		保護者向けオリエンテーション
	12月		一般常識模試
	1月		直前対策講座 就職情報サイト説明会 証明写真撮影会
4年	2月		ビジネスマナー研修 SPI 対策集中講座 求人票の見方講座 集団面接対策講座 学内合同企業説明会
	3月	企業エントリー / 採用選考開始	企業説明会
	4月 5月	採用選考：企業説明会・ 書類選考・筆記試験・面接	
	10月	内定式 追加採用募集開始	
	3月	卒業式	

3年生を対象に年間を通じて
様々な就職ガイダンスを
実施しています。



全員対象進路面談 (6・10月)

3年生全員を対象に、卒業後の進路について、年に2回個別面談を実施しています。学生の希望する進路について話を聞き、アドバイスをを行います。

保護者向けオリエンテーション (11月)

3年生の保護者を対象としたオリエンテーションをオンラインにて実施します。詳細は10月上旬に郵送にてご案内いたしますので、是非ご参加ください。

インターンシップ

インターンシップでは一定期間就業体験をします。3年生を対象に、採用に向けて「仕事体験」や「説明会」を実施する企業が増えています。情報収集や申込は就職情報サイトを活用します。デザイナー志望者を対象にしたものもあるので、興味のある業界・企業が実施するインターンシップには、積極的に参加することをお勧めします。

デザイン実習

デザイナー職(特に家電や自動車業界などの大手メーカー)を目指している人は、3年次3月の採用選考開始前に各社で実施されるデザイン実習への参加が必須。この実習が採用選考を兼ねていることが大半です。

デザイン実習では、履歴書や課題、ポートフォリオの提出、選考がありますので、早い時期から準備に取り掛かることが重要です。

ポートフォリオについて

ポートフォリオとは、デザイナー等クリエイティブ職を志望する学生が企業に提出する就職活動用の作品集です。学科の教員にアドバイスをもらい、ブラッシュアップしながら作成します。

1・3年次(4月)のガイダンスでは、ポートフォリオ作成冊子を配布しています。また、キャリアセンターには、内定を得た先輩のポートフォリオや制作に役立つ書籍を多数配架しており、自由に閲覧することができます。



1・2年次からの就活に向けての取組み

自己のスキルアップとともにキャリアデザインについてしっかり考えることが大切です。資格講座やインターンシップ、コンペやプロジェクトなどの課外活動に参加することもお勧めしています。

キャリア関連授業の履修推奨

1年次からキャリアに関する授業を開講しています。「キャリアデザインA」(1年次後期)、「キャリアデザインB」(2年次後期)では、社会的、職業的自立に向け、自己分析をはじめ基礎となる能力や自主性を身につけます。

「キャリアデザインC」(3年次後期)は、就職対策として、書類作成・面接対策など、実践での対応力を身につけます。

就職活動や進路についての「焦り」や「不安」など学生が抱える悩みは様々です。キャリアセンターでは、面談を通して一人ひとりの相談に対応します。保護者の方のご相談も随時受付ています。

(就職・進路に関する問い合わせ先)

キャリアセンター室 078-794-5035

活躍する

卒業生からのメッセージ

学びの経験を生かし、社会で活躍する卒業生からメッセージをいただきました。

VOICE



丹波伝統工芸公園立杭陶の郷
陶芸教室講師

熊谷 維斗さん

クラフト美術学科/
陶磁器コース2017年卒

役に立っていると思う芸工大での学び・経験

ガラス陶磁器コースで陶芸を専攻し、必修科目の授業で、土の扱いや成形した作品を焼き上げるまでの工程を学びました。現在、陶芸教室の講師をしているのですが、芸工大で身につけた技術や知識は、すべて今の職場で活かされています。技術や知識だけではなく、大学時代に得たさまざまな経験は、失敗談や成功談なども含め、講師としてお客様を指導させていただく際に、説得力のあるお話ができ、私の強みになっていると思います。

今の仕事でのやりがい・楽しさ

ご来店されるお客様は、全く陶芸をされたことのない方が多くいらっしゃいます。初めて陶芸体験をされるお客様へ陶芸の楽しさをお伝えし、ご自身で作った作品が形になって喜んでおられる様子を見ると、私自身も嬉しくなります。また小学生や中学生が、自然学校などの授業の一環として体験しに来られることも多く、子どもたちや自分より若い人たちが、ひとつの作品を作り上げる楽しさに出会ったり、陶芸に興味を持ったりする機会に立ち会えることにもやりがいを感じています。



在学生へのメッセージ

在学中は、作品のコンセプトについて、考えることにたくさんの時間を費やしました。普段からアンテナを張り、興味を惹かれる授業を探して履修したり、早い段階からどの素材と共に表現していくかを意識して制作していれば、もっとスムーズに思いを形にできたのかなと思います。素直に心の声を聞いて、是非ものづくりを楽しんでください。

クラブ・サークル活動報告

特殊造形部

和気藪々とした雰囲気の部です。人数が集まるとそれを通り越して、騒がしいぐらい賑やかです。



01 主な活動

オリジナルのヒーローや怪人の造形、そしてそれを着たヒーローショーを行っています。ヒーローショーのため、脚本の制作や音源の制作、アクション練習なども行います。最近は部室で雑談をしていることも多いです。

02 部の魅力

皆何かしら「好き」を持っています。特撮が好き、デザインするのが好き、作るのが好き、演じるのが好き……それらの様々な「好き」を合わせ、一つの作品としてヒーローショーを作り上げています。「好き」が否定されることなく、のびのびと作品に昇華できる環境があるというのが、最大の魅力だと考えています。

03 活動状況

新型コロナウイルス対策として、大学からの要請に従い、活動日数を減らすなど活動を制限中です。現在は、週2回程度・4限終わり(16:10以降)から活動していることが多いです。



現在13団体あるクラブ・サークルから、2団体の活動報告をご紹介します。

バドミントンサークル

真剣にバドミントンに取り組み、技術の上達に向かって励むだけでなく「バドミントンを楽しむ」ということを一番の目的にしています。学年の隔たりも無く、活発でとても和やかなサークルです。



01 主な活動

基礎的な練習から試合といった実践形式まで幅広い種類の練習を行っています。また、試合やゲームを行うことでバドミントンの技術の上達だけでなく、サークルを通して学生間で親交を深めることにも重きを置いています。

02 部の魅力

最大限に「バドミントンを楽しむ」ことに尽力していることです。そのために設備や道具などを手入れしたり、新調したりしてストレスフリーなサークル活動を目指しています。また、サークル内における学生間の交流も大切にしているので、学科、学年を問わず親交が深まっています。サークルへの参加はバドミントンの経験の有無を問わず歓迎しているので、隔たりなく誰でも楽しめるような雰囲気であることも魅力の一つです。

03 活動状況

現在、新型コロナウイルス対策として、一つのコートに対して使用する人数を制限して密にならないよう配慮し、常に体育館内の換気を心掛けています。毎週月曜と金曜の18時~20時まで、週2回の2時間で活動中です。



神戸芸工大の交換留学

本学では、海外の11大学とアートやデザインを学べる交換留学制度を設け、毎年各大学1名ずつの学生交換を行っています。協定に基づく留学のため、留学中の本学学費は半額免除、留学先の学費は全額免除となり、留学期間中も在学期間とみなされますので、4年で卒業することが可能です。留学に興味のある方は、いつでも学生生活・国際交流課にご相談ください。



【学内審査】書類審査・面接による選考

【派遣先大学の審査】書類審査(派遣先の言語または英語で作成)

交換留学 体験レポート

ベルリンヴァイセンゼー美術大学(ドイツ)

海外でデザインを学ぶために

留学しようと思った理由は、海外の文化や生活に興味があったということと、日本と違う環境でデザインを学んでみたいと思ったからです。特に留学先のドイツは Bauhaus に代表されるようにデザイン教育に力を入れてきた歴史があり、多くの優れたプロダクトデザインを生み出してきた国です。そのドイツで実際にデザインを学ぶことで、多くの知識と技術を得られるのではないかと、留学を決めました。



矢野 いづみさん
プロダクト・インテリアデザイン学科 4年
留学先:ベルリンヴァイセンゼー美術大学
留学期間:2021年9月~2022年7月



「紙製の化粧品パッケージ」を製作し、英語でプレゼンテーションを実施しました。大学展示会では学内外の大勢の方に作品を見ていただきました。



冬学期は「空の色をテーマにしたガラスオブジェ」を製作。日本で撮影した空の写真を参考に色や形を考えました。作品はヨーロッパ数カ国を巡回する展示会に出展され、現在はベルリンの美術館に展示。この展示会は2023年中頃まで続く予定です。

多くの出会いと異文化の中でさまざまな価値観を学んだ

留学先であるベルリンは世界中から人が集まる国際的な都市で、いろいろな国籍の人に出会うことができ、異なる価値観、考え方に触れることができました。学校の授業は少人数制で、先生から個別に多くのフィードバックを得ることができたり、他の生徒とアイデアを共有しながら、プロジェクトを進めたりすることができました。また、校外学習や学外の方のプレゼンテーションも多く授業に組み込まれていて、デザインを深めるためのさまざまな学びの機会を得ることができました。



自分のアイデアを伝えるデザインスケッチやモデルを用意し、ガラス工房で職人さんと相談しながら製作しました。

交換留学を考えているみなさんへ

留学ではデザインだけでなく、異なる文化や生活について学ぶことができます。それらは今後デザインをする上で大きな糧になると思います。交換留学は、通常の留学では難しい、美術系大学で半年から1年間学ぶことのできる二度とない最高のチャンスです。是非挑戦してみてください。

教育後援会より

2022年度 教育後援会総会について

2022年度総会における審議事項（下記議案）について、会員の皆様に文書を送付しご意見を伺いましたが、異論がなく、原案どおり議決いたしましたことをご報告いたします。

- ① 2021年度 教育後援会 事業報告
- ② 2021年度 教育後援会 収支報告書
- ③ 2022年度 教育後援会 新役員について
- ④ 2022年度 教育後援会 事業計画
- ⑤ 2022年度 教育後援会 予算

教育後援会は、今後も様々な形で学生達や大学の活動を支援して参りたいと思います。引き続き皆様のご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。

教育後援会 会長 奥田 九美

学生フォーラムより 2022年度 芸工祭

テーマ「芸の闇鍋」

さまざまな学科が集まる神戸芸術工科大学。普段は関わりの薄い学科同士も、この日、ともにイベントを盛り上げる仲間と変わります。仕切られていたものたちが解き放たれて、渦まき・・・まさに「芸の闇鍋」状態へ。具材たちがどんなマリァージュを引き起こすのか、是非ご来場にてご堪能ください。

開催日：2022年10月15日(土)・16日(日)

【1部】11:00～13:00

【2部】13:00～15:00

【3部】15:00～17:00

ご予約は右記QRコードまたは下記URLから
<https://www.ocans.jp/kobe-du?fid=E4xdq80K>
 ※1部あたりの一般来場者数を制限する予定です。



事務局より

後期学費納入について

2022年度後期の学費納入日は以下のとおりです。納入日に残高不足等のため口座振替できない場合は滞納となりますので、必ず前日までにご入金ください。

納入日：2022年10月27日(木)

なお、経済的な理由などから学費を期日までに納入することが難しい場合は、「延納制度」または「分割納入制度」をご利用いただけます。各制度の利用を希望される方は、所定の願出用紙を期日までに提出ください。

手続期限：2022年10月7日(金)17時

※前期「延納」「分納」手続きの際に、合わせて後期分の申請をされている場合は、改めて手続きする必要はありません。

行事予定 2022.9.1～2023.3.31

9月	
1 木	前期成績発表(4年)
12 月	後期オリエンテーション(事務局・オンデマンド) 前期成績発表(1～3年) 履修登録開始
15 木	前期卒業式
17 土	後期授業開始
19 月	敬老の日/月曜の通常授業日
9/19月～10/31月	進路面談・進路登録票提出期間 (3年・院1年)
23 金	秋分の日/金曜の通常授業日 履修登録締切
10月	
2 日	教育懇談会(本学)
7 金	後期学費延納・分納手続期限
10 月	スポーツの日/月曜の通常授業日
14 金	芸工祭準備日
15 土	芸工祭
16 日	芸工祭
17 月	芸工祭片付け日
27 木	後期学費納入日
30 日	大学院入学試験(A日程/修士課程)
11月	
3 木	文化の日/木曜の通常授業日
12月	
26 月	冬期休業開始
1月	
6 金	後期授業再開
19 木・20 金・24 火～27 金	補講日
2月	
1/30月～2/2木	後期末試験日
6 月・7 火	追試験日
10 金～12 日	卒業
24 金	成績発表
25 土	大学院入学試験(B日程/修士課程)
3月	
18 土	卒業式
30 木	2023年度オリエンテーション(新4年生)
31 金	2023年度オリエンテーション(新3年生)



KDU Vol.34-1 | 2022・9 No.94

+ + 神戸芸術工科大学
 + + KOBE DESIGN UNIVERSITY

編集・発行……………神戸芸術工科大学 学生生活・国際交流課
 〒651-2196 神戸市西区学園西町8-1-1
 TEL 078-794-5024 FAX 078-794-5027
 HP▶<https://www.kobe-du.ac.jp/about/release/kdui/>
 E-mail▶kdu-i@kobe-du.ac.jp